

CONTENTS

12月定例会

- 議案を審議 4~7
 - 第4回 臨時会を開催
 - 第4回 定例会を開催
- 一般質問 8~16
 - 8人が登壇・町長に見解を求める
- 委員会レポート 18~19
- 決算特別委員会指摘事項 20~23
- 元気なグループ紹介 24
 - 「氷上八幡神社」楽人 代表 熊野 俊博

三木町 議会だより



久しぶりにみんなでべったん!!

年末恒例の餅つき



早く食べたいな~♪



No. 182

2023.1月



新春を迎えて より開かれた議会に



副議長 鈴木 宏明



議長 富田 修司

あけましておめでとう
ございます。

昨年は、新型コロナウイルスの猛威が続き、8月には、県内で1日当たり新規感染者が2,762人にも上り、本町でも多くの感染者が出ました。

世界に目を向けると、2月にはロシアのウクライナ侵攻が始まり、穀物などの輸出が停滞し、食料価格の高騰など世界経済に影響を与えています。日本でも、各種物価の高騰が起きております。そうした中、本町

では、町長選挙が行われ、伊藤町長が無投票で当選しました。現在、本町は学校給食センター整備事業など多くの事業をしており、今後の町政運営を期待したいと思っております。

また、町内の行事も再開され、昨年10月22日には3年ぶりに「獅子たちの里」が三木まんで願。「一が開催され、にぎわいを見せました。最後の打ち上げ花火は、感動もひとしおでした。

令和5年は、癸卯（みずのと）年。

兎は跳ねるため、景気が上向きになると言われます。町政につきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止と地域経済及び社会活動のバランスの中で発展することを期待したいと思います。

最後に、議会議員

一同、町民皆様のみならずのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



渡辺 達実



西丸 一明



桑井 明人



筒井 米市



森本 晃司



安部 正雄



市原 信夫



小島 重俊



脇 博文



福家 昭三



岡 昌吾



友保 陽子



安西 進



中川 和樹



▲マイナポイント申請サポート会場(防災センター)

12月 定例会

一般会計補正予算(11月及び12月)の主な内容

個人番号カード交付事業	957万円
県子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	868万円
子育て応援給付金事業(物価高騰対策)	1億 3,519万円
出産・子育て応援交付金事業	1,511万円
介護施設等物価高騰対策支援事業	638万円
農村運動広場施設整備事業	500万円

債務負担行為

ごみ収集運搬委託事業	4億 3,471万円
学校給食公会計化事業	2,640万円

一般会計補正予算(第6・7号)

補正前の金額	135億 135万円
補正額	4億 1,442万円
補正後の金額	139億 1,577万円

第4回臨時会では、スポーツ振興くじ助成金を活用した総合運動公園多目的広場の改修工事請負契約議案(8,085万円)のほか、マイナポイント申込等支援業務を含む一般会計補正予算を可決した。

部が登壇し、執行部の考えをただした。

令和4年第4回定例会は、12月7日から15日までの9日間で開催され、一般会計補正予算など14議案を可決した。

主な補正は、「コロナ禍における物価高騰対策として、高校3年生相当までの子ども一人あたり3万円を給付する町独自事業に1億3,500万円余。出産・子育て応援交付金事業、新型コロナウイルス感染症対策事業なども可決した。また、インボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施中止を政府に求める意見書の提出を求める請願を採択した。

子ども一人あたり3万円給付
物価高騰対策で補正予算

議案を審議

第4回臨時会

令和4年11月1日

10月9日執行の町長及び町議会議員補欠選挙の結果を受け、議席の指定や常任委員会委員の選任、町長の2期目就任あいさつなどを含め、臨時会を開会した。

議案審議では、工事請負契約の締結1件と一般会計補正予算(第6号)を可決した。

町長2期目就任あいさつ

初当選の時以上に責任の重さを感じており、初心を忘れることなく、全町民の信頼と期待に応えられるよう職務に精励する。

特に、新型コロナや物価高・少子化対策、給食センターや認定こども園の整備、町有施設の老朽化対策など、中長期的な財政計画のもと、行

財政改革を推し進めていく。

また、生産年齢人口の減少を食い止める施策など、「子育てよし」「住んでよし」「遊び学んでよし」「働いてよし」とする魅力あふれる町づくりを推進する。

工事請負契約の締結

総合運動公園多目的広場改修工事を(株)谷井建設と契約するもの。

工事概要は、多目的広場の土を入れ替えてのクレイ舗装(4,170㎡)、周辺部に防球ネット(高10m・延長260.5m)や側溝を整備し、臨時駐車場としても利用する。(8,085万円)



▲工事中の多目的広場

問 中川議員

スポーツ振興くじ助成金を活用した工事は、年度内に完成させる必要がある。物価高騰など緊急事態の対応策は。

答 生涯学習課長

材料の納期など、年度内完成は可能と判断しているが、引き続きスポーツ振興センターと協議しつつ取り組んでいく。

問 渡辺議員

約85%の落札率は適正か。また、1社が失格となつているが、最低制限価格は公表しないのか。

答 契約監理課長

工事費内訳書のチェックを行うなど、適正な入札執行を行っている。なお、最低制限価格は公表していない。

問 鈴木議員

地元企業育成を大切にしたい発注を行うべきであり、県内全域を対象とした一般競争入

札とした理由を示せ。

また、防球ネットなどの専門的な工事は、業者見積りに基づいて設計価格を決めていると思われるが、見積もりをした業者の入札を認めれば、他者に比べて有利となる。今回の入札参加資格をどのように整理したのか。

答 契約監理課長

年度内に完成させる必要がある、地域要件などを取り入れた総合評価方式とした場合、契約までの期間が相当かかるため、やむを得ない措置である。

また、入札参加資格はこれまでの実績や技術者など、入札参加資格を満たす業者であれば、参加可能である。

答 町長

工事発注にあたっては、常に地元企業育成を最優先に考えているが、今回は、諸般の状況からこうした方式を取らざるを得なかった。

一般会計補正予算(第6号)

マイナポイント申込等支援業務委託792万円と埋蔵文化財緊急試掘経費162万円の補正予算を審議・可決した。

第4回定例会

請願第1号の審査報告

「インボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施を中止するよう政府に意見書の提出を求める請願」は、総務建設常任委員長より審査報告があり、賛成多数で採択した。

賛成11 反対4

議案第1号 工事請負契約の締結

令和4年度サンサン館みき
空調設備更新工事
契約金額 5,500万円
落札者 新英工業(株)



▲サンサン館みき

総務建設常任委員会

令和4年12月8日

議案第2号 香川県市町総合事務組合 規約の一部変更

令和5年4月1日から「香川中部広域競艇事業組合」を「香川県中部ボートレース事業組合」に名称変更することに伴う規約の変更。

議案第3号 三木町職員の定年等に関する 条例の一部を改正

議案第4号 地方公務員法の一部を改正 する法律の施行に伴う関係 条例の整備に関する条例 の制定

議案第3号及び第4号は関連しており、国家公務員の定年の引き上げを目的とした法の改正に伴い、「地方公務員法の一部を改正する法律」が可決成立したことから、所要の改正を行う。

- (1) 定年年齢の引き上げに関する規定の整備
- (2) 管理監督職勤務上限年齢制に関する規定の整備
- (3) 定年前再任用短時間勤務制・暫定再任用制度に関する規定の整備
- (4) 60歳を超える職員の給料の月額を7割水準とする規定の整備
- (5) 60歳に達した年度の3月31日以後、退職する場合であっても、退職手当が下がらないようにする規定の整備

問 桑井委員

制度変更により新規採用職員や財政計画に影響がどの程度あるのか。

答 参事兼総務課長

定年延長になる人数を踏まえ、バランスを考慮しながら検討していく。

また、町の資金計画については、定年延長も含めた人件費を考慮した財政計画を考えている。

議案第5号 職員の給与に関する条例 の一部を改正

人事院勧告を踏まえ、民間給与との均衡を図るため、若年層に重点を置いた引上げ改正を行い、期末勤勉手当については0・1月分引き上げる。

また、報告事項として、地域コミュニティの在り方について報告を受けた。

教育民生常任委員会

令和4年12月8日

証明書等のコンビニ等交付

マイナンバーカードを利用してコンビニ等で印鑑登録証明書、住民票写しを取得できるサービスを令和5年3月1日から施行。なお、コンビニ等交付に係る手数料は250円となる。



サンサン館みきの指定管理者の指定

現在と同様に公益財団法人三木町健康生きがい財団を令和5年4月1日から令和10年3月31日まで指定する。

補正予算

一般会計補正予算(第7号)

新型コロナウイルス対応臨時交付金の財源充当や人事院勧告等に伴い、119事業について、総額約4億488万円の補正予算案を審議した。
主な事業と補正額、質疑内容を示す。

○地域おこし協力隊

事業所借上料等の増額及び運営委託料の減額
補正額(組替補正)

問 市原議員

運営費が減額となる理由は。

答 地域活性化課長

イベント等で開催ができないものを減額し、代わって移住お試し施設を整備する。

○子育て応援給付金事業

(物価高騰対策)
高校3年生相当までの子育て

て世帯に、子ども一人あたり3万円を給付
補正額
約1億3,519万円

問 安部議員

給付家庭の所得制限は。

答 こども課長

物価高騰対策として実施、影響はすべての家庭に及ぶことから所得制限はしない。

○県子育て世帯生活支援

特別給付金支給事業
物価高騰に対して低所得の子育て世帯に、子ども一人あたり2万5,000円を給付
補正額 約868万円

○介護施設等物価高騰対策

支援事業
町内介護保険サービス事業所等に支援金を給付
補正額 約638万円

問 渡辺議員

今回の補正予算における物価高騰対策の総額は。

答 政策課長

総額で約8,699万円となる。

○総合運動公園管理費

プール上屋テントの修繕等
補正額 約1,468万円



▲修理されるプール上屋

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

未就学児保険料負担軽減ソフト購入、令和3年度決算確定による基金積立額の増額など
補正額 約3,554万円

**農業集落排水事業特別会計
補正予算（第1号）**

処理施設等に係る光熱水費
の追加など

補正額 約55万円

**介護保険事業特別会計補正
予算（第2号）**

地域包括支援システム改修
費など

補正額 約65万円

**公共下水道事業特別会計補
正予算（第1号）**

浄化センターの光熱費増額
など

補正額 約343万円

**介護予防サービス事業特別
会計補正予算（第1号）**

令和3年度実績の確定に伴
う一般会計への繰出金措置な
ど

補正額 約108万円

町議会議員補欠選挙



福家 昭三氏
田中 (69歳)

10月9日（日）に三木町議
会議員補欠選挙（欠員1名）
が執行され、無投票で、新人
の福家昭三氏が当選し、教育
民生常任委員に選任されまし
た。

感謝状表彰



筒井米市議員

町村議会議員として35年以
上在職し、地方自治の発展に
顕著な功労があった者として、
総務大臣感謝状贈呈式におい
て、筒井議員が受賞され、12
月7日に本会議場で伝達が行
われました。

請願・陳情のゆくえ

令和4年10月12日受付

物価高騰に対する高齢者福祉・介護施設等への支援について（要望）

香川県老人保健施設協議会	会長	佐藤	太彦
香川県グループホーム・小規模多機能連絡協議会	会長	岡部	壽子
香川県老人福祉施設協議会	会長	藤井	満美

令和4年11月16日受付

介護保険制度の改善を求める陳情書

香川県医療労働組合連合会 執行委員長 田村 瑞敏

令和4年11月16日受付

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書

香川県医療労働組合連合会 執行委員長 田村 瑞敏

議員配付

一般質問

ここが聞きたい!

町政を問う

8人が質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。



1人60分の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
詳しい内容については、インターネット中継をご覧ください。

質問者	質問事項	ページ
脇 博文	1 鳥獣害対策におけるICTの活用と処理施設は 2 ふるさと納税 3 企業誘致	9
中川 和樹	1 地域共生社会実現に向けての進捗状況は 2 多面的機能支払交付金事業 3 小中学校の環境整備	10
市原 信夫	1 民生委員を地域推薦から公募に 2 町独自の作文賞創設を 3 コミュニティバスの利用状況は	11
安部 正雄	1 フレイルを予防し、健康年齢延長は 2 町のゼロカーボンシティ宣言 3 町道管理と交通安全	12
渡辺 達実	1 学校給食費・子どもの医療費無償化を 2 次年度予算編成 3 農村公園トイレ整備	13
友保 陽子	1 地産地消や有機野菜を使ったメニューの検討は 2 町指定ごみ袋	14
小島 重俊	1 下水道の接続率向上は 2 外郭団体等の運営	15
岡 昌吾	1 命を守るための防災教育は 2 地域通貨・ポイントの導入	16



協 博文 議員

問 鳥獣害対策における ICTの活用と処理施設は

答 ICT捕獲機材は検討し、共同処理施設は県に要望

問

鳥獣による被害は、中山間地域等を中心に拡大し、営農意欲の低下や耕作放棄地の増加をもたらし、これが更なる被害を招く悪循環を生じさせている。ICTの活用を。

答

農林課長

ICT等を活用した捕獲機材の導入は、捕獲者からの要望も踏まえ検討する。



▲農家を苦しめるイノシシ

問

有害鳥獣の解体や埋設処理は、色々な課題がある。取組は。

答

農林課長

県に共同処理施設の設置を含め、循環型の鳥獣対策施策を要望している。また、専門

業者へ処理を委託する手法なども検討中。

ふるさと納税

問

ふるさと納税の返礼品は、品物から体験・企画へと変わりつつある。納税者の要求や需要に合うものをどれだけ選定できるかが大切だが取組は。

答

地域活性課長

本町単独では、レストランのデイナーセット、スポーツ施設の使用料など14種類、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏では、1泊2日や日帰り旅行等7プランを用意している。

企業誘致

問

働く場の確保としての企業誘致は。

答

地域活性課長

県企業誘致推進協議会を活用して、情報収集や関係機関との連携を図りながら、企業誘致に努める。

子どもの安全

問

保育所などでの子どもの安全確認を徹底し、事故が発生しない対策は。

答

こども課長

「ヒヤリハット」が発生した場合、速やかに保育士間で、その対処方法について情報共有し、ルールを適切に見直し、保護者が安心して預けられる保育所運営に取り組む。

高齢者対策

問

行方不明者の早期保護を可能とするQRコードシールや位置情報探知システムを備えたGPSの機器導入は。

答

福祉介護課長

機器導入に代わる取組として、地域企業や商店等78事業所による見守り活動や見守りボランティアによる声かけ、見守り活動を実施している。



問 地域共生社会実現に向けての進捗状況は

答 「居場所」と「出番」づくりを地域住民とともに進めている



中川 和樹 議員

問 町民の生きがいづくりを支援する、地域共生社会実現に向けての進捗状況は。

答 福祉介護課長

長引くコロナ禍ではあるが、少しずつ高齢者の「居場所」と「出番」づくりを地域住民とともに進めている。

今後も住民が支え合いながら、地域の課題を解決していきけるよう地域共生社会の実現をめざして取り組む。

問 公民館の事業目的に、居場所事業の導入予定は。

答 生涯学習課長

現在、公民館は生きがいづくりやふれあいづくり、地域の学習拠点として利用されている。また、住民の知性や感性を養い、健康増進やコミュニティの活性化を図っている。今後、公民館の居場所事業は、社会教育委員の会や公民館運営審議会等から、意見をいただきながら検討していく。

多面的機能支払交付金事業

問 活動組織エリア外の地域を調査し、町内全域で活動できるよう、行政指導のもと、強制的に進めていく必要があると思うが、見解を示せ。

答 農林課長

5か年にわたる「多面的機能発揮促進事業に関する計画」の最終年度を迎える活動組織に対し、隣接する組織との合併やエリア拡張を検討するよう打診し、賛同を得ながら、活動エリアの拡張を推奨している。

小中学校の環境整備

問 換気設備がないトイレや、あっても機能していないトイレが多く、常に窓を開放しているのが現状である。早急に換気設備工事を進めていく必要がある。見解を示せ。

答 教育総務課長

トイレの環境整備は、洋式

化や多目的トイレの整備に重点を置いてきた。現在、トイレの衛生環境改善を図るため、順次、改修等に取り組んでいる。



▲換気扇も開放できる窓もない中学校のトイレ

問 特任校である田中小学校への他校区から利用する児童を対象に、送迎バス等導入の検討は。

答 教育長

就学要件に、保護者の負担と責任において通学することを施行規則で定めている。

今後、何らかの事情による通学困難を想定して、緊急時の通学手段や校区外からの通学の在り方等について研究していく。





市原 信夫 議員

問 民生委員を地域推薦から公募にしたらどうか

答 当面、地域推薦で対応し、公募は慎重に検討

問 町は令和4年12月から、

民生委員・児童委員の年齢制限を75歳未満から78歳未満に引き上げた。県の方針に従ったものだが、民生委員の「なり手不足」は深刻で、年齢制限の引き上げや撤廃は、一時的のぎに過ぎない。従来地域推薦から、全町的に意欲のある人材を募り、養成する公募制にしたらどうか。

答 住民健康課長

現在、町では新任14人、再任38人の計52人（定数53人で欠員1人）が、厚生労働大臣の委嘱を受けて、活動している。地域によっては、候補者探しに苦慮していることは承知している。

人材発掘に公募制を採用している自治体でも、応募者が少ないと聞いており、より慎重な検討が必要。今後、町民に周知し、地域包括支援センターと連携を図るなど、支援体制づくりを進めていく。

町独自の作文賞創設を

問 子どものゲーム依存症など、活字離れが進んでいる。

文章の読み書きは、表現力や感性、人格形成の上で大切だ。地域のゆかりの作家などの文学賞を創設している自治体もある。町には、昭和初期、農民解放運動家として活動し、小説『生活の探求』を書いた作家、島木健作が居住していた。彼を顕彰する、青少年対象の作文賞を創っては。



▲平木の新川堤にある島木健作の顕彰・居住碑

答 教育長

活字離れ、読書離れ対策として、各学校において、一斉読書や読み聞かせ実施など、対応に取り組んでいる。島木健作氏については、ゆかりの作家ではあるが、十分知られてなく、まず知ってもらうことが大切だと思う。作文賞創設については、慎重に検討したい。

コミュニティバスの利用状況は

問 「地域公共交通システム」の再編後、1年近く経過したが、現状と対応は。

答 政策課長

令和4年1月から10月の間、平野部1万5,000人、山南地区2,500人の目標を過去に設定していたが、平野部9,303人、山南地区8,111人と目標に達していない。コロナ禍の影響と見られるが、住民の声を聞き、利便性の高いものにしていきたい。

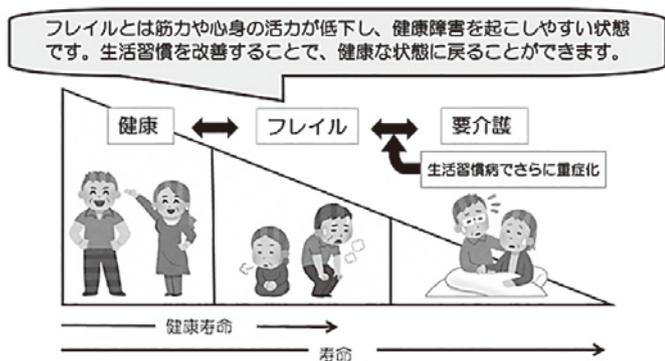


問 フレイル（虚弱状態）を 予防し、健康年齢延長は

答 要介護状態を防ぐフレイル 対策は大切と認識



安部 正雄 議員



答 福祉介護課長
フレイルは要介護に至る前段階で、「心身の活力が低下した虚弱状態」と言える。これまでは、フレイル予防という表現は少なかったが、予防対策の3つの観点を介護予防に取り入れ、周知広報に努める。

問 フレイルの予防または回復は、高齢者福祉に不可欠。予防の基本となる①栄養・口腔ケア②運動③社会参加の3本柱を推進すべき。

問 本人がフレイルとなったことに気づかない場合が多いことから、地域でのチェックや支援体制が欠かせないので。

答 福祉介護課長
町のフレイル予防は、皆さん会、元気はつらつ教室などで取り組んでいる。今後も、本予防を意識した効果的な対策に取り組む。

町のゼロカーボンシティ宣言

問 町は2050年までに、町内のCO2排出量を森林吸収量と同じにするという画期的な本宣言を行った。しかし、具体的な目標値や施策が示されていない。

答 環境下水道課長
現在、地球温暖化対策実行計画を作成中。年度内に削減率等の基本的数字を公表する。アンケート調査の結果を踏まえ、今後、具体的な活動内

容を周知したい。また、町有施設でも取り組み、町全体の気運を高めたい。

町道管理と交通安全

問 町道に隣接する住宅の生垣等が道幅を狭めている。町は適正に管理し、交通安全を確保すべきでは。

答 土木建設課長

道路にはみ出した生垣は町内随所に見られ、空き家等では枝木がはみ出し、通行に支障が出ている場合もある。

ただ、生垣等は個人財産であるために、強制的に伐採はできない。今後とも、速やかに所有者に通知指導を行い、通行の安全を確保したい。

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証もたしました。詳しくは、町ホームページに公表されている事業内容・評価をご覧ください。





渡辺 達実 議員

問 学校給食費・子どもの医療費無償化を求める

答 学校施設等の補修及び整備を優先したい

問 次年度予算編成の基本方針、重点施策をどのように考えているのか。

次年度予算編成



▲三木町役場

問 物価高騰で、子育て世帯の生活は厳しい状況が続いている。学校給食費無償化や高校卒業までの医療費無償化の検討を求める。

答 町長

給食費の無償化には1億円。高校卒業まで医療費を無償化するには追加で2,000万円程度見込まれる。学校施設等の補修や整備を優先したい。

答 町長

一般会計、特別会計等健全財政を維持している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響や電気等価格の高騰により、社会経済情勢は厳しい。次年度予算は、カーボニュートラルの実現など5つの基本方針と学校給食センターの整備など5つの重点施策を掲げて予算編成を行っている。

問 カーボニュートラルの実現及び推進は、どのようなことをめざしているのか。

答 環境下水道課長

地球温暖化対策実行計画を策定するにあたり、町民・事業者にアンケート調査を行い、地球温暖化に対する関心が高いことがわかった。今後、広報誌等を活用し、具体的な数値や対策等を周知していく。

農村公園トイレ整備

問 農村公園のトイレ整備は進んでいるのか。平木農村公園トイレなどは入札まで進んでいると思うが、どのような状況か。

答 農林課長

コロナ感染症拡大防止対策として、平木農村公園、池下水辺公園、三条農村公園、高野コミュニティの4か所のトイレ水洗化・洋式化を進めている。三条農村公園・高野コミュニティは工事に着手しているが、平木農村公園・池下水辺公園は入札が不発となり、着手できていない。

答 町長

国からのコロナ感染症対策支援金を活用し、町民への給付金やインフラ整備を進めてきた。しかし、物価の高騰でできなくなった工事もある。来年度以降、順次、整備を進めていく。



問 学校給食に有機野菜を 使ったメニューは

答 有機野菜は価格等で 折り合いがつけば検討



友保 陽子 議員

問 丸亀市は、12月7日の学校給食で県内初、有機野菜が使用された。外国産小麦100%だった給食パンも、香川県産小麦が使われ始めた。本町の予定は。
また、地産地消や有機野菜を使ったメニューの検討は。

答 教育長

本町の給食食材は、可能な限り町内産・県内産の食材使用に努めている。

本年4月から10月の食材の産地割合は、国内産食材が約85%、県内産は約50%、三木町産は全体の5〜8%となっている。県産小麦のパンは、本町でも、今月14日と来月18日に提供される予定。
有機野菜は価格が高く、流通量も少ない等の課題がある。安定供給が可能であり、かつ価格の面で折り合いがつけば、利用を検討していく。



▲平井小学校の給食

問 食品ロスについて、本町の学校給食の食べ残しはどのような状況か。
また、小中学校の給食場は、調理時に発生する食品ロスや食品廃棄物を削減する取組を行っているか。

答 教育長

SDGsを視野に入れた、さまざまな取組を行っている。残食率は約1%程度で、ここ数年大きな増減はない。食べ残しを減らす取組とし

て、郷土料理や世界の料理、旬を生かした献立や行事食を取り入れたりするなど、工夫を凝らしている。調理時に発生する食材の皮などの廃棄物も、できるだけ少なくなるよう取り組んでいる。

町指定ごみ袋

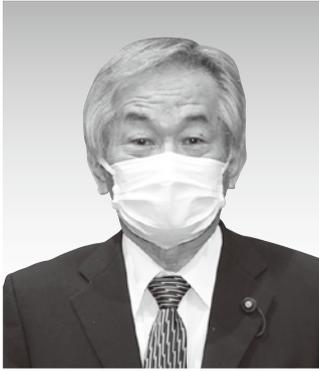
問 レジ袋の代用品として、町指定の家庭用ごみ袋を、もう1種類小さいサイズを作成して、1枚ずつばら売り販売しては。

答 環境下水道課長

ゼロカーボンシテイの観点からも有効な手段と考えるが、最近の世界情勢により、原材料費が高騰している。本町のゴミ袋作成費用も前年度比130%超となっている。

また、レジ袋用の小サイズを新たに作成する場合、取扱店の協力と主にコスト面が大きな課題となるため、現状では導入が難しい。





小島 重俊 議員

問 下水道の接続率向上は、 町政の最優先課題では

答 現状を踏まえ、様々な取組を 検討する

問 町財政に大きな負担を
かけかねない下水道整備事業で
は、接続率の向上が最優先課
題と考える。計画に対する現
状を示せ。

答 環境下水道課長

令和3年度末で、下水道が
利用可能な人口7,625人
に対し、接続人口2,145
人で接続率は約28%となっ
ている。

また、三木浄化センタ
ーの処理計画人口1万4,
270人・日最大処理水量
8,610^m／日は、令和2
年度に見直し、人口1万1,
310人・日最大処理水量5,
800^m／日と規模を縮小し
ている。

問 井上北部地区のように、
一般財源を投入しなければ健
全な運営ができない事態を招
いてはならない。

接続率向上に向け、増員に
よる対応チームの結成や接続
補助金の検討を行うべき。

答 環境下水道課長

接続率の向上は、喫緊の課
題と捉えている。今後とも、
水環境の保全など、下水道の
重要性や役割の周知徹底とと
もに、様々な取組を展開し、
接続率の向上を図りたい。

なお、新たな補助金制度の
創設は、接続されている方と
の公平性や現状の制度との整
合性もあり、現在のところ考
えていない。

外郭団体等の運営

問 町費を支出する外郭団体
のトップが町長であることに
違和感を覚える。該当する団
体を示せ。

答 参事兼総務課長

町長が理事長や会長などを
務める団体で、町が委託料
や補助金を出しているのは、
「文化振興財団」や「健康生
きがい財団」、「社会福祉協
議会」、「シルバー人材セン
ター」などがある。



▲三木町文化交流プラザ

問 補助金を出す者と受け取
る者が同じでは、様々な憶測
を生みかねない。改革への方
針は。

答 町長

外郭団体は、町が設立に関
わり公共性が高く、責任者で
ある私が代表を務めている。
団体内での監査とともに、
予算執行での査定を徹底して
おり、問題が発生したことは
ない。今後とも、住民から疑
念を抱かれることのないよう
責任者の自覚を持って業務に
あたりたい。



問 命を守るための 防災教育は

答 関係部局と連携を密に 充実を図る



岡 昌吾 議員

問 南海トラフ大地震の発生が危惧される中、小学校区単位で、防災訓練を行っている。しかし、年配者が大半を占め、救助者等として必要とされる青年や子どもたちの参加が少ないのは、残念である。小中学生に対し、「命を守るための教育」について、取組状況は。

答 教育長

学校防災計画や対応マニュアルに基づき、火災・地震発生時の避難訓練のほか、不審者侵入時の避難訓練を行っている。これらの避難訓練等は予告なしで実施し、臨機応変に行動できる力を養えるよう、工夫している。

問 現在、自主防災組織は、未設置の集落もあり、組織を設置していても活動なしの組織が多い。自主防災組織の現状と課題は。



▲防災倉庫の物資

答 参事兼総務課長

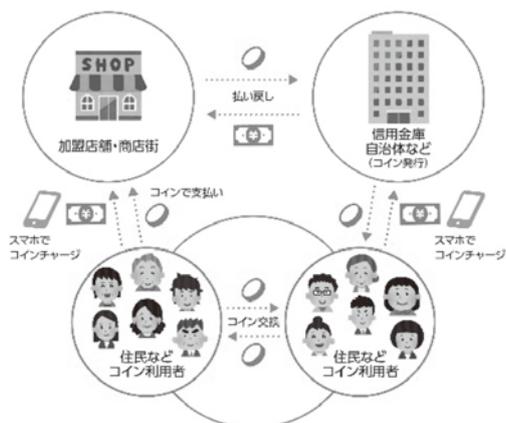
自主防災組織は、結成することが目的ではなく、定期的な訓練等を主体に実施していくことで実効性のある組織にすることが重要である。防災意識を高めるための講演会や訓練の実施、防災士育成事業を実施している。組織が主体的に活動できるよう支援内容を見直し、継続的に支援する。

地域通貨・ポイントの導入

問 地域通貨・ポイントの導入についての考えは

答 地域活性課長

地域通貨は、地域経済支援として注目が集まっており、紙媒体に比べ事業開始までの時間が短くコストも抑えることができる」と認識している。一方で、デジタル弱者の方やイニシャルコスト・ランニングコスト・ポイント付与等の費用がかかることがデメリットとして考えられる。今後、幅広い観点から慎重に調査・研究する。



定例会・臨時会 提出議案への各議員賛否表

○賛成 ●反対 一議長 欠(欠席)

議案番号・議案名		採決	福家昭三	岡昌吾	友保陽子	安西進	中川和樹	森本晃司	安部正雄	市原信夫	鈴木宏明	小島重俊	脇博文	富田修司	渡辺達実	西丸一明	桑井明人	筒井米市	
第4回臨時会																			
議案第1号	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和4年度三木町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回定例会																			
認定第1号	令和3年度三木町一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和3年度三木町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和3年度三木町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和3年度三木町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和3年度三木町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和3年度三木町介護予防サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和3年度三木町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	香川県市町総合事務組合規約の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	三木町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	三木町印鑑条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	三木町使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	公の施設の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和4年度三木町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和4年度三木町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和4年度三木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和4年度三木町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和4年度三木町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和4年度三木町介護予防サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年 請願第1号	インボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施を中止するよう政府に意見書の提出を求める請願	採択	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

富田修司	鈴木宏明	筒井米市	桑井明人	西丸一明	渡辺達実	脇博文	小島重俊	市原信夫	安部正雄	森本晃司	中川和樹	安西進	友保陽子	岡昌吾	福家昭三	議員氏名	○は出席 ●は半欠 ×は欠席
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/1	議員出欠表 (本会議のみ) 第4回臨時会(11月) 第4回定例会(12月)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/7	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15	

委員会レポート

総務建設常任委員会

令和4年9月27日

付託請願の審査

9月定例会で付託された「インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施を中止するよう政府に意見書の提出を求める請願」を審査した。

紹介議員である渡辺議員に補足説明を要請した。

令和5年10月から、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始される。しかし免税業者を取引から排除しかねないインボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものである。コロナ禍で地域経済が疲弊する中で、中小企業・自営業者の経営危機が深まっております、制度に対応でき

る状況でない。このことから、政府に対して新たな過重負担を招くインボイス制度の実施中止を求める意見書の提出を求めるという趣旨の説明を受けた。

用語説明

インボイスとは

売手が買手に対して、正確な適正税率や消費税額等を伝えるもの。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「消費税額等」の記載が追加された書類やデータ。

各委員の意見

①安部委員

インボイス制度の趣旨は理解できるが、このまま導入される場合は、小規模事業者にとっては影響が大きく、経営を継続できるような制度や政策を検討すべき。

②岡委員

3年間は免税事業者からの仕入れ税額相当額の80%が控除される猶予期間があり、その後の3年間は50%の控除が可能である。合計6年間の猶予期間内で経営努力するなど対応はできると考える。

町税のキャッシュレス化の推進

町税の納付方法について個人住民税の普通徴収、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の4税目においてコンビニ納付及びスマートフォンアプリ決済を開始した。

問 安部委員

車検時に必要な納税証明書の発行はどうなるのか。

答 税務課長

コンビニ納付の納付書の領収印をもって、納税証明書として扱う。

また、スマホ決済については、後日、役場窓口において本人等の申請により納税証明書を発行している。

教育民生常任委員会

令和4年9月27日

三木町就学前施設再編整備方針の策定

「三木町子ども・子育て会議」において、町にとって効果的な幼保連携型認定こども園等を令和8年度開園としていくが、物価高騰により財源の見通しを慎重に検討する。また、園児一人ひとりの発達特性や個人差にも十分に配慮し、個に応じた適切な環境



作りが必要等の文言を追加した。

三木町パートナーシップ宣誓制度

現行の法制度では、結婚が認められない2人が、協力して生活を行うことを宣誓し、自治体がそれを公的に証明する制度を令和4年9月1日から導入し、町営住宅の入居申込等のサービスが利用可能。



介護保険地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）の新規整備

令和5年11月1日までに町内で4施設目のグループホーム開設予定。

三木町学校給食費の公会計化

令和6年4月より学校給食費の徴収管理業務を三木町の業務とする。

学校施設等整備特別委員会

令和4年11月14日

給食調理業務の調査

調理等の現状として、1日あたりの提供食数、各調理場で勤務している調理員数、配膳業務、食材調達や献立作成等の業務、令和3年度決算ベースの給食調理等の支出額、給食提供体制の現状の課題等の大きく6項目について説明を受けた。

運営業務については、現在の調理場では、調理、配膳、管理の3項目の業務を行っている。

学校給食センターでは、調理はハサップに対応した衛生基準のもとに行われる。その

ため、調理業務の質が上がる他、アレルギー対応食の調理に関する業務も行える。しかし、各学校へ配送する業務については、新たな体制を整える必要がある。

今後のスケジュールとして、給食センターは、令和6年6月頃に完成予定である。各小学校の改修については、令和5年7月頃から、給食運搬のためのエレベーターの設置工事等を先行して行い、令和6年9月から給食センターからの給食提供を開始する予定である。また、配送校4小学校の調理場の改修は、令和7年3月までの完成を予定している。

用語説明

HACCP（ハサップ）とは製品の安全性を確保する衛生管理手法

問 桑井委員

ハサップに対応した健康管理は、現段階でどの程度対応できているのか。

答 教育総務課担当

給食調理員の検便検査は、毎月2回、健康診断は年3回行っている。食材仕入先の管理と記録については、どの業者から、どこ産の食材を仕入れているか全て管理しており、ノロウイルス等が発生した場合、追跡できるようにしている。



▲給食配膳の様子（氷上小学校）

町民1人当たり

※住民基本台帳の人口

48.2万円の支出

(令和4年3月末現在人口は27,377人で259人の減)

決算特別委員会

令和3年度の各会計決算と基金の運用状況は、決算特別委員会に付託され、5日間の慎重審議を経て12月議会で全ての会計を認定した。

令和3年度 普通会計歳入決算
140億6,026万円

(新型コロナ対策交付金等が18億1,655万円減)

令和3年度 普通会計歳出決算
131億9,326万円

(国民一人当たり10万円給付やデジタル無線整備事業の完了等により20億7,521万円減)

町財政の健康診断

単年度における借金返済額を除いた歳入のバランスを見るプライマリバランスは黒字となっており、財政運営に対する執行部の努力は評価する。

今後も公共下水道等、借入

町財政の健康診断

町債（借金）	119億7,024万円 (対前年9,170万円増)
基金（貯金）	60億1,648万円 (対前年8億8,316万円増)

額の増加の可能性を見ながら、将来にわたる財政負担の見込み等を適正に把握し、地方債の効率的かつ弾力的な運用が望まれる。

また、高齢化社会の進展により、これまで以上に社会保険障関係費の支出が想定され、公共施設の長寿命化等の整備も控えている。

より一層の一般財源確保に努め、財政の健全を継続することが求められる。

監査委員の意見要旨

(太田一司・桑井明人)

- ① 各種の財政指数は概ね良好である。
- ② 6特別会計は、決算収支、形式収支、実質収支の全てにおいて黒字となっているが、一般会計からの赤字補填的な繰入れが常態化しないよう、さらなる経費の削減及び財源確保に努めること。
- ③ 下水道事業処理区域での接続率向上のため、一層の推進を図りたい。

使い道を徹底検討

令和3年度決算審査は、1局14課1室が実施した事業説明を求め、町民の利便や福祉向上の観点から、その必要性や効果を検証した。

なお、紙面の関係で、全ての質疑は掲載できないものの、以下にその概要を抜粋する。

決算概要報告での質疑

決算分析調査

問 小島副委員長

減債基金の積立が約2億円増えた理由は。

答 政策課担当

今後、大型建設事業等が控えているため、借入の元金償還を積極的に行っていきたいことによる。

総務課

問 岡・中川委員

町内の消防屯所で、耐震化及び水洗化されていない屯所は何か所か。

答 総務課担当

耐震化はあと2か所で完了する予定。

水洗化されていない屯所は6か所。耐震化が終了したら取りかかる予定。



▲耐震化・水洗化される田中消防屯所

政策課

問 森本委員

地域公共交通システム再編事業の成果は。

答 政策課担当

I r u C aカードを利用することで、地域公共交通の利用促進に繋がっていることから、一定の効果があると考えらる。

地域活性課

問 小島副委員長

がんばろう事業者応援補助金の成果は。

答 地域活性課担当

233件の申込みをいただいた。事業所からは、早期の振込やいろんなメニューに使いやすいかつたと喜んでいただけた。

問 中川委員

まちづくり推進事業の成果は。

答 地域活性課担当

田中まちづくり協議会は一定の効果を得られていると考える。住民アンケートを実施しており、集計結果がでたら報告する。

問 安西委員

ふるさと納税が高水準であることの手応えは。

答 地域活性課担当

新たなポータルサイトの導

入や返礼品を増やした。

住民健康課

問 市原委員

後期高齢者の人間ドックは、予防医学協会の1か所になる。受診機関の拡大は。

答 住民健康課長

拡大してほしいという声は聴いている。今後検討したい。

こども課

問 市原委員

児童虐待・DV対策総合支援事業の相談内容と対応、連絡体制は。

答 こども課担当

子育ての相談や虐待の相談があるが、お母さんの気持ちに寄り添った支援を行っており、ケースによって協議して対応している。

福祉介護課

問 小島副委員長

災害時避難行動要支援者名簿のチェック体制は。

答 福祉介護課担当

名簿は毎年1月～2月にチラシを全戸配布し、申請書は持参してもらい回収。総務課、福祉介護課に設置の避難行動要支援者管理システムに入力・管理している。

環境下水道課

問 小島副委員長

三木浄化センターの維持管理費の推移は。

答 環境下水道課担当

昨年度より改善しているが、



▲三木浄化センター

全額使用料では賄えていない。今後とも接続率向上に努め、事業を推進していく。

問 市原委員

ふれあい収集事業の利用者が伸びない原因は。

答 環境下水道課長

高齢者になっても、自分でできるうちは自分で、という気持ちからかと思われる。最後の受け皿になっているので、事業は継続する。

農林課

問 市原委員

農業次世代人材投資事業は、45歳未満の若い農業起業者が何人で、どんな作物を栽培しているか。

答 農林課長

小麦1人、露地野菜2人、ハウスいちご1人。いちご栽培者は年間300万円以上の収入をあげ、認定農家として自立している。

土木建設課

問 安部委員

交通安全施設で、冬の早朝、カーブミラーが曇って安全を確認できない場合がある。対応策は。

答 土木建設課長

住民から要請があれば、清掃とともに、新型の曇らないカーブミラーに順次、取り換えている。

教育総務課

問 中川委員

PCR検査の実施状況は。

答 教育総務課担当

学校でのクラスター発生時に学校からの要望で検査キットを配布した。

問 安部委員

児童生徒が不登校となる要因と現況は。

答 教育総務課担当

心身の健康問題、友人や教職員等との関係、家庭環境の問題等、さまざまな要因で不登校となっている。今後も相談支援に努める。

問 友保委員長

スクールソーシャルワーカーの取組は。

答 教育長・教育総務課担当

町内で2名を任用。支援状況は、2名が90件余の児童生徒を担当。福祉的な側面からの働きかけで、機動性があり家庭訪問もできる。学校と各種機関のつなぎ役。

生涯学習課

問 森本委員

ゆめ基金積立金で、自動販売機の収入以外の原資は。

答 教育長・生涯学習課長

自動販売機の売上げの一部のみ。

現地調査

- 事業効果を確認するため、3か所の現地調査を実施した。
- ① 中学校施設整備事業
 - ② 屋内ゲートボール場施設整備事業
 - ③ 文化交流プラザ施設整備事業



▲中学校施設整備事業 現地調査

総括質疑

現地調査の指摘事項を含め、総括質疑を実施した。

問 中川委員

屋内ゲートボール場の屋根裏断熱材は新規施工しないのか。

答 生涯学習課長

ゲートボール場は避難所でもあることから、今後、屋根の張替え時に検討する。

問 岡委員

ゆめ応援基金は今後どのようにして維持していくのか。

答 生涯学習課長

基金に協力する自動販売機の増加に努めていく。

問 中川委員

自治会体制について、地域コミュニティ構築の考えは。

答 地域活性課長

検討委員会でも、町が自治会の把握に努めてほしいという意見をいただいている。今後、近隣自治体の取組を参考にしながら検討する。

決算特別委員会指摘事項（令和3年度決算）

1. 危機管理体制の強化

経済優先のコロナ対策に転換しつつあるが、町民の命と生活を守る危機管理体制の構築と継続が重要であり、引き続き感染防止対策の徹底と公平・公正を原則とした本町独自の支援策等を強化されたい。

また、南海トラフ巨大地震だけでなく、異常気象による集中豪雨対策として、避難所運営のあり方を検証するとともに、家庭内の防災対策徹底や地域の助け合いを主眼に、コミュニティの再生や自主防災組織の活動支援策を拡充されたい。

2. 子ども子育て施策の充実

「誰一人取り残さない」とした理念を大切に、各種の子育て支援策の拡充を図るとともに、いじめや不登校対策に有効な専門サポートスタッフの増員など、さらなる相談体制の充実が求められる。特に、中学生で大きく増加している不登校問題について、その原因究明と改善策の検討は喫緊の課題であり、家庭内教育のあり方を含めた関係機関・団体との協議・連携を深められたい。

また、部活動の地域移行においては、子どもたちの平等な活動が保障される体制を構築するとともに、本町独自の教育支援策として、給食費無償化の検討や給付型育英基金の創設などが望まれる。

3. 公共用施設の整備と維持管理施策

下水道整備や老朽化の進む学校施設の改築等にあたっては、健全財政を維持しつつ、的確な執行に努められたい。

また、町管理の公共用施設の維持管理にあたっては、行政主体での優先順位を明確にするなど、町民にとって公平・公正な事業執行を図られたい。

4. 高齢者施策の充実

核家族化の進む現状において、独居老人や老々介護等の実態把握に努めるとともに、地域包括ケアシステムや在宅医療などの生活支援策充実が求められる。「誰でも・いつでも」とした医療・福祉政策の基本に立ち、新たな老健施設の整備を含め、様々な高齢者の生きがいづくりや健康増進策の取組を検討・実践されたい。

なお、再編されたコミュニティバス運行について、利用者の実態把握に努め、その効果を検証することから、地域ボランティア等による移手段の補完策の検討にも取り組まれたい。

令和4年11月11日 三木町議会決算特別委員会

元気なグループ紹介

「氷上八幡神社」楽人 がくにん 代表 熊野 俊博

氷上八幡神社の雅楽は昭和56年10月に発足し、今日まで41年あまり地元の有志で演奏しており、お正月に始まり、秋祭りとの年2回雅楽を奉納しています。

練習は先輩の教えを継承し、また、希望者は香川県神社庁開催の雅楽研修を受講しています。

演奏している和楽器の構成は、筆策(短い縦笛)3名、龍笛(横笛)3名、笙(パイプオルガンの元祖と言われている)1名となっています。

笙は天から差し込む光、龍笛は天と地の間を泳ぐ龍の声、筆策は地に在る人の声を表していると言われています。

演奏される曲目は「越天楽」で、雅楽の中では最も一般的な曲であり、皆で演奏を楽しんでおります。

雅楽に携わっていますと、神域の神秘的な雰囲気の中、清涼感に包まれ、生まれる前からの空灵感・懐かしささえ感じ、気持ち落ちつき、心が和みます。

そうした中、楽人も高齢化しており、若い人の参加を強く望んでいます。

最後に、氏子の皆様と一緒に歴史ある氷上八幡神社の護持発展に努めます。



▲演奏に使われる和楽器



▲久しぶりの演奏(夏まつり)

お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人です。なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、人数に制限を設ける場合があります。

●お問い合わせは、議会事務局へ
 ☎087(891)3311
 次の定例会は、3月上旬の予定です。

編集を

終えて

サッカー日本代表のドーハの歓喜に感動した。ボクシングの井上尚弥が世界4団体統一チャンピオンに輝き、日本に一筋の明るい兆しが見えた年の暮れ。

今年、野球やバスケットボールなどのワールドカップがある。

香川県出身のコーチ・選手が出場予定だ。活躍を心より願う。

コロナ禍に縛られない、自由で明るい世界になることを、今年も切に望む。

(岡 昌吾)

議会だよりは私たちが

編集しています。

- | | |
|--------|-------|
| 編集委員長 | 市原 信夫 |
| 同 副委員長 | 安部 正雄 |
| 同 委員 | 鈴木 宏明 |
| 同 委員 | 小島 重俊 |
| 同 委員 | 森本 晃司 |
| 同 委員 | 中川 和樹 |
| 同 委員 | 安西 進 |
| 同 委員 | 友保 陽子 |
| 同 委員 | 岡 昌吾 |